

抜群の行動力

災害対策でもパワー全開

●ただちに調査し、緊急要望



◀6月・大阪北部地震の住宅被害(八幡市)

▶9月・台風21号で大量の倒木(毘沙門堂奥の大文字登山道)

●被災者救済へ制度紹介



台風21号の暴風被害では、山科全域で屋根にブルーシートがかかった80軒以上を訪問。「制度を知らなかった。ありがたい」など感謝の声が寄せられました。

●四宮川・安祥寺川の改修実現

6年前の台風18号で200件を超える浸水被害が発生し、地下鉄もストップ。「雨が降るたびに不安」の声を受けて、府議に返り咲いてすぐの本会議でとり上げ、知事に管理責任を認めさせました。新たに整備計画が作られ、改修工事が始まっています。



護岸コンクリート補強(安祥寺川)

河床掘下工事が完了(四宮川「沢橋」上流)

「貧困と格差」ただし、子育てにやさしいまち



全国では8割が実施している全貫制の中学校給食を。少人数学級など子育て施策の充実に期待しています。
● 幼修寺菜山/三角令子

暮らし応援。安心できる医療・介護を



体力が落ちて医者にかかる回数が増えてきた時、「マル老制度」で助かりました。お金の心配なく暮らせるようにしてください。
● 髭茶屋屋敷敷/北本ひろ子

住民の声が生きる「まちづくり」住み続けられる山科へ
本庄さん、頼りにしています!

いのち・安全最優先の 京都・山科



4月からの稲荷山トンネル無料化で、新十条通りの交通量増加が心配。隣接する生活道路の安全対策をお願いします。
● 西野山中臣町/梅垣静

中小企業・地場産業支援で 地域経済活性化



国民生活を立て直すのが政治。中小業者は、外注先でも人手不足で大変。雇用・資金への支援を。
● 日電工・代表取締役/武村猛夫

消費税10%ストップ。9条改憲・原発再稼働NO! 隠ぺい 改ざん 安倍政治とキッパリ対決



誰も見捨てない

苦難解決へ奔走!!

「安倍さんはアカン」「もう、食費を削るしかない」と、怒りと暮らしの悲鳴。弱い者いじめの政治は許せません。安倍政権に審判下し、消費税増税の中止を。大型開発ではなく、「住民の福祉を守る」府政実現へ、全力を尽くします。

日本共産党

京都府会議員 府議団政調会長

本庄たかお

府会

ほんじょう 孝夫

府会議員2期。文化・教育常任委員、高齢社会の安心・安全対策特別委員
1948年、滋賀県高島市生まれ。京都教育大卒。市立中学校教員、京都市教組書記長など歴任。
山科区生活相談所長。「原発ゼロ・山科の会」事務局長。

本庄たかお

“一人ひとり”をとことん大切に

原点は、山科区での「1名でも障害児学級」を実現した運動。「たらい回しはやめて」のお母さんの声が政治を動かしました。議会では、先生の欠員が埋まらない「教育に穴が空く」問題を追究。臨時教員の処遇改善を実現しました。丹後通学圏の高校再編では、「地元の高校を守れ」の運動と論戦に取り組み、統廃合を許していません。

いのち・くらしを守る



認知症のある高齢者のことです。毎日のヘルパーさん、お風呂に入るためにはデイサービスも使ってほしい。でも利用料を考えると使えません。奥さんの負担を軽くしたい。でも、家族がいたら家事のヘルパーは使えません。
…介護の現場で30年。いっぱいいっぱい悔しい思いをしました。もっと政治がくらしを応援、福祉をよくしないとあかん! 市政で働きたい!

と決意しました。地域のみなさんは、いい地域をつくろうと汗をながしていらつしやいます。国も京都市も、地域のことには地域でと言いい、お金も職員もつけません。地域づくりに、大型開発が必要なんじゃありません。住民が主人公の地域へ、課題を一つ一つ解決するために支援する市政へ全力を尽くします。

日本共産党

党山科区介護・福祉委員長

鈴木とよこ

市会

すずき 豊子 鈴木とよこ

1960年生まれ。舞鶴市出身。親和女子大学(神戸市)卒。大宅診療所と京都市左京南地域包括支援センターで約30年、医療事務、ケアマネジャーとして働く。民青同盟京都府常任委員、党東地区委員、左京地区委員を歴任。家族は夫と一男一女。



市会議員 北山ただお

私のあとつぎ、介護・福祉の現場などで活躍してきた鈴木とよこをよろしくをお願いします。

市民の「困った」に寄りそい、地域とくらしを支えます

- 医療・介護、地域福祉の経験生かして**
 - ▶ 山科区にも看護師のいる介護施設を 看護小規模多機能型居宅介護の開設に向けて支援をすすめます
 - ▶ ヘルパー難民を出さない 訪問介護事業所が継続できるように、総合事業の訪問型サービスを見直します
 - ▶ 居場所づくりを推進します 「空き家」等介護予防をすすめる場所の提供、支援体制をすすめます
 - ▶ 地域包括支援センターの体制を強化します
- 山科区民の足を守る**
 - ▶ 山科南西部から区役所や鉄道駅へのバス路線をつくります
 - ▶ 山科東部(大塚・大宅)の循環バス路線をつくります
 - ▶ バス停留所にベンチや上屋、点字ブロックなどを整備します
- 地域とくらしを守る**
 - ▶ 給付制奨学金の実現、ブラックバイト・企業の根絶
 - ▶ 介護・福祉・保育職員の賃金など待遇改善
 - ▶ 通学・生活道路の安全対策

市政に市民の声とどけ、お役に立ちます



子育てに全力 SOSをキャッチし、つなぐ 現場の声を集める

優れた問題解決能力 公益社団法人信和会大宅診療所 所長 藤本真次さん

鈴木さんは、大宅診療所で介護事業の責任者でした。その仕事ぶりは優れた統率力、判断力、調整力、問題解決能力を発揮し、てきぱきと仕事をしています。また、困難な状況の高齢者に寄り添い、共感し、厚い信頼を受けていました。市会議員予定候補者としてその活躍を期待し心から推薦します。